

学校名		寝屋川市立第一中学校
学年	三年三組	氏名
		川口陽莉

題名 未来への投資、これからの  
 義務教育としての九年間の学校生活。私は  
 今年で中学三年生。その義務教育も今年で終  
 わりです。毎年、新学期にはきれいな教科書  
 が無償で配られ、新しい机や椅子が並び、真  
 新しい気持ちで一年を始めることができるい  
 ます。学校には教室、グラウンド、体育館、  
 中庭など、大切な思い出の場所がた  
 くさんあります。中でも三年間バスケットボ  
 ール部として仲間とたくさん時間を過ごし

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

た体育館は一番の思い出の場所です。友達と  
 たくさん勉強し、美味しい給食を食べ、放課  
 後には思い存分部活動ができたこの学校とも  
 後半でお別れです。九年間、そんなたくさ  
 んの思い出を与えてくれたこの場所に感謝の  
 気持ちでいっぱいです。  
 こんな風に長年お世話になっ  
 の。税制のものほ税金で賄われてい  
 ます。税金  
 がなければ、ともとも学校はな  
 かったかもし  
 ないです。私たちが子どもが払う税金をい  
 え

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
3-377	1105				

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ば消費税ぐらゐですが、この作文を書くまで  
 は「税金なんて無駄じゃない？」何に使れ  
 れているか、もれからないし、と損をしている  
 気がして、いました。ですが、その税金に一番  
 お世話になっているのは私たち子どもなのだ  
 と思います。小学校・中学校の教育費として  
 一人あたり年間約百円の税金が使われてい  
 て、それを九年間、その税金のおかげで楽しく  
 安全に学校生活を送ることができています。  
 世界には税金を払っていないにも関わらず学校

に通えなからたり、教科書ももらえない地域  
 もあるそうです。私たちが九年間してきても  
 知らなかったことは、あたりまえではなく、とて  
 世帯ごとには、だいたい、寄付がされました。また、  
 私たちが受けて、いる税金は教育に関する  
 ものだけではありません。病院、警察、消防、  
 ごみ処理、その他にもたくさん、もの、が税金  
 で賄われて、いるのです。子どもは風邪をひい  
 ても怪我をしてもかかると、お金は五百円、危険  
 な目に遭っても、電話をかけたければ警察、消防が

中学生の「税についての作文」原稿用紙

すべてに駆けつけてくれます。ゴミ捨て場にゴミを置くと、翌日には回収処理をしてくれて清潔な町を歩くことができます。私たちの安心安全な生活は税金の上に成り立っているのだという。ことにも気付かされました。このように、今まで税金の恩恵を受けてきた私たちですが、大人になつたの社会を支えていく立場となります。税金を払ったり使ったりすることは無駄なんかではなく、次の世代へと繋ぐ未来への投資だと思えます。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ので私たちがしてもらつたことのありがたさを忘れずに感謝の気持ちを持って繋いでいきたいです。

私は学校が大好きです。その学校でできたたくさん人の思い出や経験はお金では買うことができない貴重なものだと思います。そしてその学校自体、ほとんどが税金でできているのだと知ることができました。少し知るのが良かったかもしれません。残りの学校生活、税金への感謝の気持ちを持っていきます。

中学生の「税についての作文」原稿用紙